

区 分	課 程
-----	-----

論 文 の 和 文 要 旨

博士論文の題目：変形性膝関節症に身体的フレイルを合併した高齢女性の健康関連 Quality of Life

学 籍 番 号：220D05 氏 名：横田 文子

指 導 教 員：前島 悦子 教授

本邦は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進んでいる。そのため、高齢者の健康寿命の延伸が喫緊の課題であり、より早期から対策を講じる必要がある。要介護の前段階である要支援の原因の第1位が関節疾患であることから、関節疾患に罹患した高齢者の健康維持・増進や介護予防が重要である。

高齢者において最も一般的な関節疾患は、変形性膝関節症（KOA）である。KOAは、加齢による膝関節の軟骨変性によって、膝関節に変形が生じる疾患であり、膝関節痛、運動機能や日常生活動作能力の低下など、高齢者の健康に多大な影響を及ぼす。さらに、KOAは加齢に伴い有病率が上昇することから、加齢に伴う機能低下である身体的フレイルを合併しやすいことが報告されている。そのため、KOAに身体的フレイルを合併した高齢者は、KOA単独よりもさらに健康状態に支障を来している可能性が予想される。

健康状態の評価の1つに、健康関連 Quality of Life（HRQoL）がある。HRQoLには、身体的、精神的、社会的側面がある。WHOが定義した健康の概念は、「単に病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、全てが満たされた状態であること」と定義している。特に、KOAは慢性疾患であり、手術をしない限り完治させることが困難である。そのため、KOA高齢者の身体的、精神的、社会的側面のHRQoLを評価することは、主観的健康感の観点から、健康状態を多面的に把握することに繋がる。

過去の検討において、KOA高齢者は、身体的、精神的側面のHRQoLが低下することが報告されているが、社会的側面のHRQoLも含めて多面的に検討されたものは先行研究を狩猟する限り見当たらない。また、KOAに身体的フレイルを合併した高齢者の身体的、精神的、社会的側面のHRQoLについても明らかにされていない。高齢者のHRQoLと要介護度には関連があることが報告されている。KOAに身体的フレイルを合併した高齢者の身体的、精神的、社会的側面のHRQoLを多面的に理解することで、KOA高齢者の健康寿命の維持・増進や介護予防のための新たな対策を検討する一助となると考えた。

そこで、博士後期課程では、以下の課題に取り組んだ。

課題 1 では、KOA に罹患した高齢女性の身体的、精神的、社会的側面の HRQoL を明らかにするため、KOA 高齢女性と、KOA と診断されていない地域在住高齢女性を比較検討した。

課題 2 では、KOA に身体的フレイルを合併した高齢女性の、身体的、精神的、社会的側面の HRQoL を明らかにするため、KOA 高齢女性と、KOA に身体的フレイルを合併した高齢女性を比較検討した。

以上の 2 つの課題から得られた結果に基づいて考察を行い、以下の結論を得た。

1. KOA に罹患していない高齢女性と比べて KOA 高齢女性の身体的側面の HRQoL は低下していたが、精神的、社会的側面の HRQoL には差がないことが明らかとなった。また、KOA 高齢女性では社会的側面の HRQoL と身体的側面の HRQoL との間に関係があることが明らかになった。KOA 高齢女性の身体的側面の HRQoL に軽症側の膝 ROM が関与することが明らかになったことから、軽症側の膝 ROM の維持・向上が身体的側面の HRQoL だけでなく、社会的側面の HRQoL の低下の予防にも繋がる可能性があることが示唆された。

2. KOA に身体的フレイルを合併した高齢女性は、身体的フレイルを合併していない KOA 高齢女性よりも身体的、精神的、社会的側面の HRQoL 全てが低下することが明らかとなった。また、身体的フレイルを合併した KOA 高齢女性において、身体的側面の HRQoL と軽症側の膝関節荷重時痛、社会的側面の HRQoL と最大歩行速度との間にそれぞれ関係があることが明らかになった。KOA に身体的フレイルを合併した高齢女性において、軽症側の膝関節の荷重時痛の軽減や、最大歩行速度を維持・向上させることが、身体的、社会的側面の HRQoL の低下を予防する可能性があることが示唆された。

以上のことから、身体的フレイルを合併した KOA 高齢者に対して身体症状の軽減及び運動機能の向上を目的とした運動介入を行うことは HRQoL の維持・向上と介護予防に繋がる可能性があると考えられた。

(2000 字程度)